



2026年8月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年4月13日

上場会社名 株式会社ウィッツ 上場取引所 東
 コード番号 4440 URL <https://www.witz-inc.co.jp/>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 服部 博行
 問合せ先責任者（役職名） 取締役（氏名） 尾関 和磨 TEL 052-957-3331
 半期報告書提出予定日 2026年4月13日 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有（アナリスト向け）

（百万円未満切り捨て）

1. 2026年8月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年9月1日～2026年2月28日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する中間純利益 | |
|-------------|-------|------|------|-------|------|-------|-----------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2026年8月期中間期 | 2,618 | 12.0 | 340 | 11.1 | 357 | 10.3 | 249 | 10.9 |
| 2025年8月期中間期 | 2,338 | 57.2 | 306 | 145.3 | 323 | 134.3 | 225 | 162.3 |

（注）包括利益 2026年8月期中間期 249百万円（13.1%） 2025年8月期中間期 220百万円（146.0%）

| | 1株当たり 中間純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益 |
|-------------|----------------|---------------------------|
| 2026年8月期中間期 | 円 銭 62.63 | 円 銭 — |
| 2025年8月期中間期 | 56.61 | 56.60 |

（注）2026年8月期中間期の潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（2）連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|--------------|--------------|-----------|
| 2026年8月期中間期 | 百万円 4,374 | 百万円 3,039 | % 69.2 |
| 2025年8月期 | 4,072 | 2,837 | 69.4 |

（参考）自己資本 2026年8月期中間期 3,027百万円 2025年8月期 2,825百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|----------|-------------|----------|--------------|--------------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| 2025年8月期 | 円 銭 — | 円 銭 0.00 | 円 銭 — | 円 銭 15.00 | 円 銭 15.00 |
| 2026年8月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 2026年8月期（予想） | — | — | — | 18.00 | 18.00 |

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年8月期の連結業績予想（2025年9月1日～2026年8月31日）

（%表示は、対前期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|-------|------|------|-----|------|-----|-----------------|-----|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 5,600 | 15.3 | 580 | 2.4 | 596 | 1.3 | 435 | 2.5 | 108.87 |

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) 一、除外 一社(社名) 一

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は、添付資料9ページ「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|-------------|------------|-------------|------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2026年8月期中間期 | 4,176,000株 | 2025年8月期 | 4,176,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 2026年8月期中間期 | 176,659株 | 2025年8月期 | 187,979株 |
| ③ 期中平均株式数(中間期) | 2026年8月期中間期 | 3,991,398株 | 2025年8月期中間期 | 3,980,414株 |

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

| | |
|-----------------------------|----|
| 1. 当中間決算に関する定性的情報 | 2 |
| （1）経営成績に関する説明 | 2 |
| （2）財政状態に関する説明 | 3 |
| （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 中間連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| （1）中間連結貸借対照表 | 4 |
| （2）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 | 6 |
| （中間連結損益計算書） | 6 |
| （中間連結包括利益計算書） | 7 |
| （3）中間連結キャッシュ・フロー計算書 | 8 |
| （4）中間連結財務諸表に関する注記事項 | 9 |
| （中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記） | 9 |
| （セグメント情報等の注記） | 9 |
| （株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） | 10 |
| （継続企業の前提に関する注記） | 10 |

1. 当中間決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における我が国の経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果もあり、緩やかな回復が続くことが期待される一方、米国の通商政策や物価上昇の継続が、我が国の景気を下押しするリスクとなっております。また、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がありますが、依然として不透明な状況にあります。

当社グループのソフトウェア事業を取り巻く環境においては、引き続き開発依頼は高い需要を維持しております。自動車向けの売上に関して、主力であります組込みソフトウェアの売上が堅調に推移したことに加え、シミュレータ・仮想空間技術、セキュリティ及びセーフティの売上が好調に推移したため、売上高は前年同期比増収となりました。

営業利益においては、給与水準の引き上げや事業の拡大・推進・強化等を目的とした人員の増強による人件費の上昇や外注費の増加に加え、本社における増床関連コストの発生等により売上原価及び販管費が増加したものの、売上高の増収、受注価額の見直しや高利益率案件の増加等による売上総利益率の上昇が牽引し、販管費増を上回る売上総利益の増加となった結果、前年同期比増益となりました。

経常利益及び親会社株主に帰属する中間純利益においては、保険解約返戻金が減少したものの、営業利益及びGo-Tech事業（成長型中小企業等研究開発支援事業）に係る補助金収入が増加した結果、前年同期比増益となりました。

この結果、当中間連結会計期間の経営成績は、売上高2,618,706千円（前年同期比12.0%増）、営業利益340,015千円（同11.1%増）、経常利益357,164千円（同10.3%増）、親会社株主に帰属する中間純利益249,990千円（同10.9%増）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

なお、当中間連結会計期間と前年同期の一方若しくは両方がマイナスの金額である場合は、前年同期比増減率の記載に代えて、前年同期額を記載しております。また、「その他」については、前第4四半期連結会計期間に新たに連結子会社とした株式会社リザーブマート（以下、RM社という。）のみが含まれているため、前年同期比増減率及び前年同期額は記載しておりません。

1. ソフトウェア事業

当セグメントにおいては、自動車や産業機器向けの制御ソフトウェアの受託・エンジニアの派遣等を軸とし、これらのソフトウェア開発におけるセキュリティやセーフティコンサルティング、AI（人工知能）を自律化システム等に安全に搭載するためのAIセーフティコンサルティング、ロボットや自動走行車開発等におけるシミュレーション及びモデルベース開発技術の提案・開発・提供、これらの技術に関するノウハウを商材化した製品及びサービスの提供などを行っております。なお、当社、テスコ株式会社及びRM社以外の連結子会社は、当セグメントに含めております。

経営成績の状況といたしましては、主力であります組込みソフトウェアの技術分野で自動車向けの売上が堅調に推移したことに加え、シミュレータ・仮想空間技術、セキュリティ及びセーフティの技術分野で自動車向けの売上が好調に推移したため、売上高及びセグメント利益は前年同期比増収増益となりました。

この結果、売上高は2,347,925千円（前年同期比20.8%増）、セグメント利益（営業利益）は344,851千円（同24.9%増）となりました。

2. センシング事業

当セグメントにおいては、X線透過・CT装置の製造・販売・保守などを行っており、事業の特性上9月及び3月付近に売上が集中し利益貢献する傾向にあります。なお、連結子会社であるテスコ株式会社は当セグメントに含めております。

経営成績の状況といたしましては、X線透過・CT装置など大型案件の需要が高い状況にあり、案件の受注は堅調に推移したものの、当中間連結会計期間において納品が見込まれていたX線透過装置における大型案件の一部が、第3四半期連結会計期間以降の納品に変更となったこと等の影響により、前年同期比減収となりました。また売上高が減収となったことにより、売上総利益額が減少したため、セグメント損失となりました。

この結果、売上高は244,796千円（前年同期比38.0%減）、セグメント損失（営業損失）は23,826千円（前年同期は

16,487千円のセグメント利益）となりました。

3. その他

当セグメントにおいては、RM社が含まれております。RM社は自治体や公共施設、音楽スタジオに向けてクラウド型施設予約システムの開発、保守サービスを提供しております。

経営成績の状況といたしましては、自治体等に提供している施設予約システムの開発収益、利用料収益等により売上高が堅調に推移したため、セグメント利益となりました。

この結果、売上高は27,675千円、セグメント利益(営業利益)は2,077千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、3,142,903千円(前期末比11.7%増)となりました。主な内訳は、現金及び預金2,038,431千円(同5.1%減)、受取手形、売掛金及び契約資産344,527千円(同9.1%増)、有価証券299,613千円(前期末該当なし)、仕掛品213,121千円(前期末比4.1%増)であります。

固定資産は、1,231,553千円(同2.2%減)となりました。主な内訳は、のれん249,564千円(同6.2%減)、投資有価証券196,740千円(同33.9%減)、有形固定資産139,806千円(同56.7%増)、保険積立金115,297千円(同4.8%減)であります。

この結果、当中間連結会計期間末における総資産は、4,374,457千円(同7.4%増)となりました。

(負債)

流動負債は、1,004,451千円(前期末比10.4%増)となりました。主な内訳は、賞与引当金237,783千円(同12.8%減)、未払法人税等130,492千円(同6.8%増)、買掛金100,312千円(同48.4%増)であります。

固定負債は、330,793千円(同1.9%増)となりました。主な内訳は、退職給付に係る負債235,650千円(同3.7%増)、長期未払金91,893千円(同3.4%減)であります。

この結果、当中間連結会計期間末における負債合計は、1,335,244千円(同8.2%増)となりました。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産は、3,039,213千円(前期末比7.1%増)となりました。主な内訳は、資本金612,524千円(前期末同額)、資本剰余金560,209千円(前期末比0.4%増)、利益剰余金2,010,022千円(同10.4%増)であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年8月期の連結業績予想及び配当予想につきましては、2025年10月14日に公表いたしました予想からの変更はありません。なお、当該連結業績予想及び配当予想の数値につきましては、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2025年8月31日) | 当中間連結会計期間 (2026年2月28日) |
|----------------|-------------------------|---------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 2,149,108 | 2,038,431 |
| 受取手形、売掛金及び契約資産 | 315,724 | 344,527 |
| 有価証券 | — | 299,613 |
| 商品及び製品 | 65,589 | 74,983 |
| 仕掛品 | 204,784 | 213,121 |
| 原材料及び貯蔵品 | 3,603 | 4,004 |
| その他 | 74,326 | 168,222 |
| 流動資産合計 | 2,813,136 | 3,142,903 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 89,237 | 139,806 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 265,977 | 249,564 |
| その他 | 121,454 | 123,093 |
| 無形固定資産合計 | 387,432 | 372,658 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 297,588 | 196,740 |
| 保険積立金 | 121,118 | 115,297 |
| その他 | 363,595 | 407,051 |
| 投資その他の資産合計 | 782,302 | 719,088 |
| 固定資産合計 | 1,258,972 | 1,231,553 |
| 資産合計 | 4,072,109 | 4,374,457 |

（単位：千円）

| | 前連結会計年度 (2025年8月31日) | 当中間連結会計期間 (2026年2月28日) |
|---------------|-------------------------|---------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 67,617 | 100,312 |
| 未払法人税等 | 122,217 | 130,492 |
| 賞与引当金 | 272,570 | 237,783 |
| 製品保証引当金 | 3,234 | 22,630 |
| 受注損失引当金 | 564 | 6,203 |
| その他 | 443,525 | 507,028 |
| 流動負債合計 | 909,729 | 1,004,451 |
| 固定負債 | | |
| 退職給付に係る負債 | 227,143 | 235,650 |
| 役員退職慰労引当金 | 2,401 | 3,248 |
| 長期末払金 | 95,091 | 91,893 |
| 固定負債合計 | 324,635 | 330,793 |
| 負債合計 | 1,234,365 | 1,335,244 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 612,524 | 612,524 |
| 資本剰余金 | 557,888 | 560,209 |
| 利益剰余金 | 1,819,852 | 2,010,022 |
| 自己株式 | △162,958 | △153,154 |
| 株主資本合計 | 2,827,307 | 3,029,601 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △1,936 | △2,262 |
| その他の包括利益累計額合計 | △1,936 | △2,262 |
| 非支配株主持分 | 12,373 | 11,874 |
| 純資産合計 | 2,837,744 | 3,039,213 |
| 負債純資産合計 | 4,072,109 | 4,374,457 |

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

| | 前中間連結会計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年2月28日) | 当中間連結会計期間 (自 2025年9月1日 至 2026年2月28日) |
|---------------------|--|--|
| 売上高 | 2,338,390 | 2,618,706 |
| 売上原価 | 1,470,262 | 1,577,393 |
| 売上総利益 | 868,127 | 1,041,313 |
| 販売費及び一般管理費 | 561,977 | 701,298 |
| 営業利益 | 306,150 | 340,015 |
| 営業外収益 | | |
| 補助金収入 | 9,063 | 11,273 |
| 助成金収入 | 48 | 1,400 |
| 保険解約返戻金 | 4,985 | 1,995 |
| 保険事務手数料 | 83 | 61 |
| 受取手数料 | 903 | 26 |
| その他 | 2,837 | 3,307 |
| 営業外収益合計 | 17,921 | 18,064 |
| 営業外費用 | | |
| 自己株式取得費用 | 261 | — |
| 為替差損 | — | 377 |
| 保険解約損 | — | 527 |
| その他 | 6 | 10 |
| 営業外費用合計 | 267 | 915 |
| 経常利益 | 323,805 | 357,164 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 421 | 171 |
| 特別損失合計 | 421 | 171 |
| 税金等調整前中間純利益 | 323,383 | 356,992 |
| 法人税等 | 102,138 | 107,501 |
| 中間純利益 | 221,244 | 249,491 |
| 非支配株主に帰属する中間純損失 (△) | △4,100 | △499 |
| 親会社株主に帰属する中間純利益 | 225,344 | 249,990 |

（中間連結包括利益計算書）

（単位：千円）

| | 前中間連結会計期間 （自 2024年9月1日 至 2025年2月28日） | 当中間連結会計期間 （自 2025年9月1日 至 2026年2月28日） |
|----------------|--|--|
| 中間純利益 | 221,244 | 249,491 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △1,034 | △326 |
| その他の包括利益合計 | △1,034 | △326 |
| 中間包括利益 | 220,210 | 249,165 |
| （内訳） | | |
| 親会社株主に係る中間包括利益 | 224,310 | 249,664 |
| 非支配株主に係る中間包括利益 | △4,100 | △499 |

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前中間連結会計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年2月28日) | 当中間連結会計期間 (自 2025年9月1日 至 2026年2月28日) |
|----------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前中間純利益 | 323,383 | 356,992 |
| 減価償却費 | 27,494 | 32,847 |
| のれん償却額 | 13,008 | 16,413 |
| 顧客関連資産償却額 | — | 1,943 |
| その他の償却額 | 4,976 | 2,420 |
| 賞与引当金の増減額（△は減少） | △19,027 | △34,786 |
| 製品保証引当金の増減額（△は減少） | 3,418 | 19,395 |
| 役員退職慰労引当金の増減額（△は減少） | 847 | 847 |
| 退職給付に係る負債の増減額（△は減少） | 7,977 | 8,507 |
| 受注損失引当金の増減額（△は減少） | — | 5,638 |
| 保険解約返戻金 | △4,985 | △1,467 |
| 固定資産除却損 | 421 | 171 |
| 売上債権及び契約資産の増減額（△は増加） | △162,305 | △28,802 |
| 長期未払金の増減額（△は減少） | △49,991 | △3,197 |
| 棚卸資産の増減額（△は増加） | △130,742 | △18,131 |
| 仕入債務の増減額（△は減少） | 119,021 | 33,307 |
| その他 | △63,294 | △47,617 |
| 小計 | 70,202 | 344,481 |
| 法人税等の支払額又は還付額（△は支払） | △116,583 | △106,932 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △46,380 | 237,548 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △9,472 | △30,629 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △31,315 | △25,124 |
| 差入保証金の差入による支出 | △7,672 | △41,435 |
| 差入保証金の回収による収入 | 10,298 | 58 |
| 保険積立金の積立による支出 | △1,645 | △1,296 |
| 保険積立金の解約による収入 | 12,375 | 9,514 |
| 資産除去債務の履行による支出 | △15,870 | — |
| 投資有価証券の取得による支出 | △100,663 | — |
| 投資有価証券の償還による収入 | — | 100,000 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △143,964 | 11,086 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 配当金の支払額 | △55,769 | △59,698 |
| 非支配株主への配当金の支払額 | △369 | — |
| 連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の売却による収入 | 3,000 | — |
| 自己株式の取得による支出 | △27,290 | — |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △80,428 | △59,698 |
| 現金及び現金同等物の増減額（△は減少） | △270,773 | 188,937 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 1,572,064 | 2,149,108 |
| 現金及び現金同等物の中間期末残高 | 1,301,290 | 2,338,045 |

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | 合計 | 調整額 (注) 2 | 中間連結 財務諸表 計上額 |
|-----------------------|--------------|-------------|-----------|-----------|--------------|---------------------|
| | ソフトウェア 事業 | センシング 事業 | 計 | | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 1,943,692 | 394,698 | 2,338,390 | 2,338,390 | — | 2,338,390 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | — | — | — | — | — | — |
| 計 | 1,943,692 | 394,698 | 2,338,390 | 2,338,390 | — | 2,338,390 |
| セグメント利益 (注) 1 | 276,155 | 16,487 | 292,642 | 292,642 | 13,507 | 306,150 |

(注) 1. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. セグメント利益の調整額は、営業取引と営業外取引の消去時に生じる差額等であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当中間連結会計期間(自 2025年9月1日 至 2026年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注) 2 | 合計 | 調整額 (注) 3 | 中間連結 財務諸表 計上額 |
|--------------------------|--------------|-------------|-----------|--------------|-----------|--------------|---------------------|
| | ソフトウェア 事業 | センシング 事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 2,346,235 | 244,796 | 2,591,031 | 27,675 | 2,618,706 | — | 2,618,706 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 1,690 | — | 1,690 | — | 1,690 | △1,690 | — |
| 計 | 2,347,925 | 244,796 | 2,592,721 | 27,675 | 2,620,396 | △1,690 | 2,618,706 |
| セグメント利益又は損失 (△) (注) 1 | 344,851 | △23,826 | 321,024 | 2,077 | 323,102 | 16,912 | 340,015 |

(注) 1. セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、RM社におけるインターネット予約システムの運用と管理事業等であります。

3. セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額は、セグメント間取引の消去額であります。セグメント利益の調整額は、営業取引と営業外取引の消去時に生じる差額等であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（重要な後発事象）

（取得による企業結合）

当社は、2026年2月17日開催の取締役会において、以下のとおり、株式会社アグコントロールシステム（以下、AG社という。）の全株式を取得し、子会社化することについて決議いたしました。また、2026年2月23日付で株式譲渡契約を締結し、2026年3月2日付で全株式を取得いたしました。

（1）企業結合の概要

① 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 株式会社アグコントロールシステム

事業の内容 農業分野におけるレーザー及びGPS技術を活用したマシンコントロール装置・ソフトウェアの開発、設計、生産、販売、サービス、技術サポート、レンタル等

② 企業結合を行った主な理由

当社グループは、「半歩先の技術で人々の生活を豊かに」という経営理念のもと、未来社会が抱える課題をソフトウェア技術で解決し貢献することを使命とし、中期経営戦略として、組織力、技術力及び収益力の向上を掲げ、研究開発、M&Aも含めた各種施策を推進しております。

AG社は、農業分野においてレーザーやGPS技術を活用したマシンコントロール装置の開発、販売等を行っており、ほ場の均平化において「高度なGPSセンシング技術」を保有している会社であります。

農業分野を取り巻く市場環境は、担い手不足や高齢化等により農業従事者が減少している等の理由から農作業の自動化、効率化等へのニーズが高まっており、スマート農業の普及は今後も継続して行くものと見込んでおります。AG社の「高度なGPSセンシング技術」は、ほ場の均平化を「高精度」に実現可能な点で競争優位性があり、社会的ニーズへのソリューション提供と今後の事業成長が見込める優れた技術であると評価しております。

また、当社グループに加わることで、AG社が保有する「高度なGPSセンシング技術」と当社グループの「高信頼なソフトウェア実装力」を融合させ、農業分野における自動化ソリューションを深化させるとともに、その技術を応用し、建設機械の自動運転、インフラ設備の保全、災害時の地形解析など、農業以外の様々な産業分野への活用を推進することが可能となり、当社グループの技術の高度化と事業の拡大に資するものと考えております。

③ 企業結合日

2026年3月2日

④ 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

⑤ 結合後企業の名称

変更ありません。

⑥ 取得した議決権比率

100%

⑦ 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得したことによるものです。

（2）被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

| | | | |
|-------|----|---------|----|
| 取得の対価 | 現金 | 556,800 | 千円 |
| 取得原価 | | 556,800 | 千円 |

(3) 主要な取得関連費用の内容及び金額

| | |
|-----------|-----------|
| アドバイザー費用等 | 26,800 千円 |
|-----------|-----------|

(4) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

現時点では確定しておりません。

(5) 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

現時点では確定しておりません。